さつまいもで お菓子つくり

11月９日（土）、持留小学校において冨士屋あめ親子おかし作り活動がおこなわれました。これは、農業体験と食育を組み合わせ、自然の恵みや地元食文化への理解を深めることを目的として、持留小学校全25名の児童が育てたサツマイモを使用し、冨士屋あめの小野社長の指導のもと、からいもあめ作りを体験しました。

からいもあめ作りを体験した澁谷匡祐（きょうすけ）さんは「サツマイモをつぶす工程が楽しかった。美味しいとみんなが喜ぶ顔を想像しながら作りました」と感想を話してくれました。体験を通して、自分たちがいつも食べているものは、いろいろな人が関わり作られていることを学ぶことができ、感謝の気持ちも再認識していました。

デフ陸上教室

11月７日(木)、大崎小学校において同校３年生を対象に、(一社) スポーツ観光おおさきが企画し (一社) 日本デフ陸上競技協会から３名、デフ陸上日本代表選手４名を招きデフ陸上教室がおこなわれました。デフリンピックは、デフアスリートを対象とした国際総合スポーツ大会になり、2025年東京で開催されます。

児童らは、スタートランプ体験（音ではなくランプ点灯によるスタート）や投てき体験など、選手と楽しく体験していました。

トリックオアトリート！！

10月31日(木)、大崎幼稚園において、大崎町商工会青年部がハロウィンのイベントとして毎年恒例のお菓子の詰め合わせを配布しました。

今年は大崎町のゆるキャラ（非公認）「松原王子」も駆けつけました。園児らは「トリックオアトリート」と大きな声で話し、松原王子からお菓子をもらっていました。お菓子は町内の幼稚園と保育園の全園児約500名に配布されました。